

佐渡市の人口は、67,384人、世帯数は24,629世帯。
 前回の調査と比較すると人口4,789人、世帯数は789世帯減少。

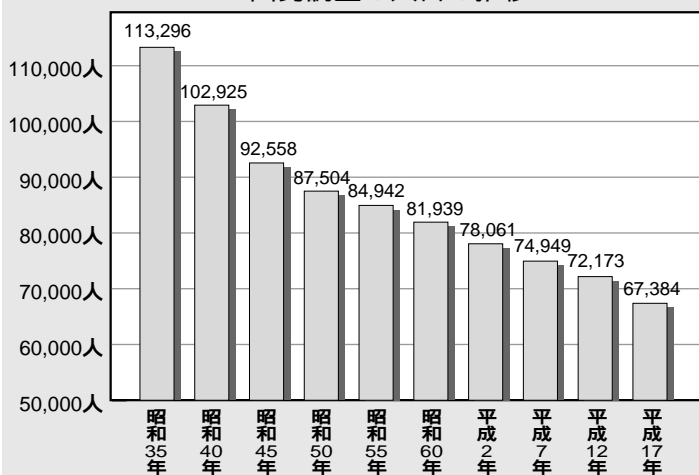
2005

国勢調査

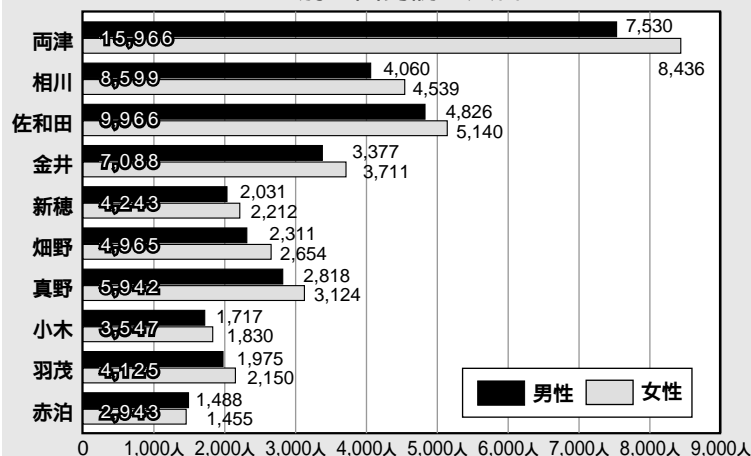
速報

		世帯数		総数		男		女	
		増減 (世帯)	増減率 (%)	増減 (人)	増減率 (%)	増減 (人)	増減率 (%)	増減 (人)	増減率 (%)
佐渡市	平成17年	24,629		67,384		32,133		35,251	
	平成12年	25,418	-789	72,173	-4,789	34,488	-2,355	37,685	-2,434
両津	平成17年	5,921		15,966		7,530		8,436	
	平成12年	6,228	-307	17,394	-1,428	8,188	-658	9,206	-770
相川	平成17年	3,377		8,599		4,060		4,539	
	平成12年	3,641	-264	9,669	-1,070	4,560	-500	5,109	-570
佐和田	平成17年	4,123		9,966		4,826		5,140	
	平成12年	4,161	-38	10,343	-377	5,046	-220	5,297	-157
金井	平成17年	2,640		7,088		3,377		3,711	
	平成12年	2,549	91	7,278	-190	3,516	-139	3,762	-51
新穂	平成17年	1,509		4,243		2,031		2,212	
	平成12年	1,552	-43	4,559	-316	2,197	-166	2,362	-150
畑野	平成17年	1,753		4,965		2,311		2,654	
	平成12年	1,868	-115	5,362	-397	2,569	-258	2,793	-139
真野	平成17年	1,936		5,942		2,818		3,124	
	平成12年	1,929	7	6,134	-192	2,884	-66	3,250	-126
小木	平成17年	1,228		3,547		1,717		1,830	
	平成12年	1,298	-70	3,858	-311	1,829	-112	2,029	-199
羽茂	平成17年	1,250		4,125		1,975		2,150	
	平成12年	1,295	-45	4,455	-330	2,155	-180	2,300	-150
赤泊	平成17年	892		2,943		1,488		1,455	
	平成12年	897	-5	3,121	-178	1,544	-56	1,577	-122

国勢調査の人口の推移



地区別の国勢調査人口



今後のまちづくりなどの基本資料とするため、10月1日現在で行われた18回目の国勢調査。今回佐渡市の人口と世帯数を速報として紹介します。みなさんには、調査にご協力いただきありがとうございます。

今回の調査を集計した結果、佐渡市の人口は6万7,384人(男性3万2,133人、女性3万5,251人)、世帯数は、2万4,629世帯でした。

人口についてみると、昭和25年の12万5,597人をピークに毎回減少しています。前回の平成12年に行った調査との比較でも4,789人減少しました。男女別の人口では、男性が2,355人の減少、女性が2,434人の減少となっています。また、世帯数も、789世帯の減少でした。

今後この調査は、国が集計、分析を行い地方交付税の額を決めたり、都市計画や防災計画、経済計画などを作成する際の基礎資料として活用されたりします。

今回紹介した人口や世帯数は、速報値であり、今後総務省統計局が公表する結果と異なる場合があります。

人口予想クイズ結果発表



佐渡市の統計博士
たまちゃん

国勢調査前に募集した、佐渡市人口予想クイズに196名の方から応募をいただきました。

どうもありがとうございました。残念ながら、ピタリの方はいませんでしたので、予想人口が正解に近い方から順に当選者を決定しました。

	賞品	予想人口	正解との差
1等(1名)	佐渡牛と乳製品の詰め合わせ	67,368人	16
2等(2名)	佐渡の魚介類	67,367人	17
		67,354人	30
3等(10名)	佐渡の特産品	67,220人	164
		67,613人	229
		67,622人	238
		67,633人	249
		67,132人	252
		67,650人	266
		67,678人	294
		67,717人	333
		67,025人	359

1月中に商品をお届けします。都合により、賞品の内容が一部変更になることがあります。当選者は、賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

平成17年度 コミュニティ助成事業

正明寺鬼太鼓保存会(新穂地区)では、自治宝くじの助成金であるコミュニティ助成事業の助成を受けて、太鼓一式、提灯、鬼面、半てんを整備しました。

保存会では、今後はこれらを活用しコミュニティ活動の更なる活性化を図っていくことにしています。



宝くじは、楽しく豊かさを持ち、チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。



コミュニティ助成事業とは(財)自治総合センターが、自治宝くじの普及広報事業費として受け入れる受託事業収入を財源とし、宝くじの普及広報を行うとともにコミュニティの健全な発展を図ることを目的に様々なコミュニティ活動に助成を行うものです。

こちらは消費者協会です

循環型社会を形成するために 新潟県消費者協会真野支部

私たち消費者協会は、資源の循環型社会を作り上げる上で、地元へ貢献し、その輪を大きく広げながら、実践活動を進めている団体です。少しずつでも、私どもの活動が市民の皆様にご理解いただけたら幸いです。

真野支部は、平成10年に発足し、県協会へ30番目に加入いたしました。数十年前から加入し活動している他支部とは異なり、立ち遅れはあったものの、当初は50余名の会員とともに、先輩方のご指導を仰ぎながら、数々の問題と向き合い、活動を進めて参りました。

主な活動として、毎年行われる県主催のゴミ半減運動マイバッグキャンペーンに本年も参加させていただきました。一般消費者にノリレジ袋、マイバッグ持参を呼びかけながら、それに関する



るアンケートを実施しました。この結果が先日県で公表され、マイバッグ持参における当地区の状況が良好で新たな

意欲がわきました。

また、EM有用微生物群(菌利用への取り組みです。最近、河川の汚染は目に余るものがあります。真野湾の汚染も広がり、魚貝類を含め自然を守るためにも汚染防止は必要であります。

この問題の取り組みとして、エコひびき佐渡の方々や真野漁協の組合員等は、水質汚染の浄化作用があるといわれるEM菌の効用を活かし、数回にわたり、ぼかし・だんごを作り海底に沈める試みをされております。EM活動に取り組んでいた私どももEM活用の講演を機会に、さっそくぼかし・だんご作りに取り組みました。

これからも地域の方々とともに、循環型社会が形成できる様、実践活動に励んで参ります。いつも話が絶えない愉快な我が支部へご加入を心からお待ちしております。